

1. 「酪農フィールド科学演習」

(1) シラバス

《単位互換提供科目詳細》

		* 科目 No.	
1. 開設大学名	広島大学		
2. 科目名	正式科目名	酪農フィールド科学演習	クラス名
	副題	乳牛を中心とした食農フィールド演習	配当年次
	旧科目名	農場実習 2	3
	学問分野	番号	33
		名	農学
	称		
3. 担当教員 (名前・所属・職名)	谷田 創・黒川勇三・都築政起・前田照夫・小櫃剛人他		
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	集中
6. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 2. 「基礎知識を必要としない科目」		
7. 開講期間 曜日・時間帯	2011 年 8 月 30 日 (火) ~ 2011 年 9 月 2 日 (金) 3 泊 4 日 火~金曜日 8/30 13 時 30 分に広島大学 (農場) に集合。他大学の学生は 13 時に JR 西条駅前に集合。		
8. 単位互換定員	30 人程度 (内、他大学の学生については 10 名程度)	9. 定員超過時 の選考方法	書類選考
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本学キャンパスには生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション (農場) があり、そこでは太陽の恵みを受けた大地で作物を作り、それらを飼料として家畜を繁殖、成長させてミルクや肉、羊毛を生産しています。また、畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と、動植物の精密実験圃場を有しています。酪農フィールド科学演習は、農学の基礎知識を持った学生が、これらの施設において、草と家畜 (特に乳牛) と土の循環のなかで乳を生産して食品に加工していく過程を、講義、実習及び討論を通じて学ぶことで、農業と食の関わりについて考えます。</p> <p>8/30 (火) 集合・ガイダンス・農場の見学と説明 (農場)、その後、家畜の飼養管理と搾乳作業① 8/31 (水) 午前 1 : 家畜の飼養管理と搾乳作業②、午前 2 : 牧草、飼料作物生産と放牧の実際 午後 1 : 乳牛の人工授精の実際、午後 2 : 家畜の飼養管理と搾乳作業③ 9/1 (木) 午前 1 : 家畜の飼養管理と搾乳作業④、午前 2 : 生乳の加工 : 低温殺菌とバター作り及び試飲 午後 1 : 濃厚飼料の特性と役割、午後 2 : 家畜の飼養管理と搾乳作業⑤ 9/2 (金) 午前 1 : 乳牛と肉牛の遺伝的的特性と役割 午前 2 : 体験発表会・昼食後解散</p>		
11. 試験・評価方法	受講態度 60 点、発表 20 点、レポート 20 点で評価します。		
12. 別途負担費用	他大学の学生については、授業期間中の食事費等 (9000 円以内) を現地で徴収します。集合場所までの旅費は自己負担です。開催 1 週間前以降のキャンセルについては食事代を、1 日前および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額 (9000 円) を支払っていただきます。		
13. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●集合日時 : 9 月 6 日の 13 時 30 分に西条ステーション (農場)。ただし他大学の学生については、13 時に JR 西条駅前に集合 (昼食を済ませておいてください。) バスで大学まで送迎します。 ●傷害保険 : 事前に学生教育研究災害傷害保険 (財団法人日本国際教育支援協会) 相当の傷害保険に加入しておいて下さい。 ●持参物 : 医療保険証、作業着 (つなぎ及び長靴は大学で用意します)、日よけ用の帽子、デジタルカメラ (あれば望ましい)、水に濡れたり汚れても構わない靴、筆記用具、他大学の学生については宿泊に必要な身の回り品 (洗面具、タオル、着替えを含む) 等 ●やむなく欠席する場合は 1 週間前までに広島大学生物生産学部学生支援グループまで申し出てください。直前にやむなく欠席・遅刻する場合も、必ず連絡してください。 ●本授業科目は、広島大学生物生産学部 (3 年生の選択必修科目)、他大学の農学系学部の学生のために開講されるものです。他大学の学生については、演習期間中、広島大学西条共同研修センターに宿泊していただきます。 <p>問合せ先: 広島大学生物生産学部学生支援グループ TEL: 082-424-7915 Email: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp HP: http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei/index.html</p>		